

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	自立支援医療費給付事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-17	担当者 尾崎由実
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	生活環境の整備		

事業について	
目的	障害者に対して、医療費を給付することによりその障害を除去又は軽減し、もって日常生活能力又は職業能力を回復し獲得させることを目的とする。
対象（誰のために）	18歳以上で身体障害者手帳の交付を受けた者で、更生医療の対象者（一定所得未満の者）
内容	指定医療機関での診察及び薬剤の支給等に対し、医療費を給付する。

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
更生医療給付件数	343 件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,396	国庫補助金等	2,697	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,718	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	7,114	市債		合計	0	市債	

必要人員	0.27	人
結果指標名	更生医療給付件数	
結果指標量	343	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	7,114,000	円
単位当たりコスト①	20,741	円

結果指標名	更生医療給付件数	
結果指標量	343	
単位	件	
対前年比	—	
事業費		円
単位当たりコスト②		円

事業の成果	
成果指標名	更生医療給付件数
式又は説明	
成果指標量	17年度 343
対前年比	—
到達目標値	343
到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	申請に基づき更生医療が必要であると医学的に判定された者に対して給付される医療であり、対象も妥当である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市民・内容の妥当性評価	市の関与の妥当性	公費で負担する医療費及び審査手数料支払は、岡山県国民健康保険団体連合会及び岡山県社会保険診療報酬支払基金に委託されており効率化されている。
	コストの効率化	
効率性の評価	手段の最適化	特定の医療に対する給付のため医療機関からの紹介等により、申請がなされている。
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	市民参画度
	成果向上の可能性	

総合評価	
コメント	法令により認定、給付の処理をしており、有効な事業である。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	343
目標値	343

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。